

私たちの生活と税

稚内市立稚内南中学校 三年 白幡 愛梨

「税」という言葉を聞くと、難しいものという印象を持つ人もいるかもしれませんが、ですが、身近な生活を振り返って考えてみると、税は私たちの生活に欠かせないものだと感じかれます。学校や病院、道路、消防署など、私たちが利用している公共サービス多くは税金で支えられて成り立っています。

例えば、私たちは毎年無償で教科書を受け取っています。教科書の裏には「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」というメッセージが書かれています。普段何気なく使っていた教科書ですが、その一冊一冊が税金によって支えられていることを知り、税金は普段目に見えないところで私たちの生活を支えてくれているものだと感じました。

私はこの作文を書く中で、税についてもっと知りたいと思い、税の使われ方について調べてみることにしました。その中で、私たちの命や日常の安心に関わる部分に関心を持ちました。例えばいざというときに頼る、救急車の制度についてです。

日本では、料金を気にせず救急車を利用することができます。家族や友人が急に体調を崩したときでも、ためらわずに「一一九」に電話ができます。しかしそれは珍しいことであり、アメリカやフランスでは一般的に数百ドルから数千ドル、日本円で数万円から数十万円と非常に高額だそうです。つまり日本のように、救急車が完全に無料で利用できる国は少数派であり、世界的に見ても珍しい制度だと分かります。

では、なぜ日本の救急車は無料なのでしょう。それは、税金によって運営されているからです。運用には救急隊員の人件費や燃料費、医療器具の準備など様々な費用がかかっており、救急車の一回の出動にかかる費用は約四万五千円とされています。もし救急車が有料であるとしたらどうでしょうか。「お金がかかるから」という理由で通報をためらってしまい、助かる命が助からなくなってしまうかもしれません。そう考えると、税金で支えられた日本の救急車制度は私たちの命を守るためにとっても大切な仕組みだと感じます。

このように、税金は私たちの生活や命、学びを守るために使われています。普段は意識することが少ないかもしれませんが、税金によって守られているというのを知り、生活に欠かせない大切なものであるということを改めて理解することができました。

これからは、税金がどのように使われているかに関心を持ち、税金はただ払うものと考えてではなく、「私たちの生活や命を守り、支えてくれる大切な仕組み」として受け止めていきたいです。